

没後
200
周年

増田五郎右衛門

— 八十カ村民を救った六合の偉人 —



増田五郎右衛門の肖像画

五郎右衛門一揆とは

1816年(文化13年)、志太地方で農民一揆が起きました。この年の台風で、建物は倒れ、作物は実らず、農民の暮らしは立ち行かなくなり、年貢はとも取れませんでした。

この時、細島村の増田五郎右衛門が立ち上がり「11月23日、田中城下へ集まれ」と田中藩80カ村に呼び掛けました。その日、五郎右衛門は乱暴を戒めましたが、集まった4000〜5000人ともいわれる農民は、ついに郷宿などの打ち壊しを始めました。そこで、田中城から出てきた役人は、農民の訴えを聞き返しました。やがて、城から年貢の減免

が伝えられたので、農民はそれぞれ帰村していききました。

その後、藩の役人はこの行動の首謀者を探索しました。多くの村人が投獄され苦しむのを聞き、五郎右衛門は自ら名乗り出て、家屋敷没収・死罪とされました。1818年6月28日、五郎右衛門が42歳の時でした。亡きがらをもらい受けた細島村の人々は、丁寧な葬り、慰霊のために毎年命日になると「首切り正月」といって、農作業を1日休み供養を続けました。それは現在まで、東町夏祭りとして引き継がれています。

民主化のお手本として

大正デモクラシーの頃には、出生地の六合村青年団が細島村の八幡神社に「義人碑」を建てました。また、戦後民主化期の1949年には「民主まつり五郎祭」が志太地方全域で盛大に催されました。五郎右衛門の自主的精神が、民主化のお手本とされたのです。

江戸時代、飢饉に苦しむ農民のため、田中城(現藤枝市田中)への直訴を指揮した細島村(現島田市細島)出身の庄屋「増田五郎右衛門」。自らの命をかけて村人の生活を守った姿は、後世に語り継がれています。没後200周年を迎える今年、六合地区で記念祭や関連イベントが行われます。

☎文化課 ☎36-7967 ☎増田五郎右衛門200年記念祭実行委員会 ☎35-1713



1



①六合東小学校4年生による五郎右衛門の歴史劇
 ②八幡神社(東町)にある五郎右衛門の義人碑 ③全仲寺(東町)にある五郎右衛門の墓と顕彰碑 ④五郎右衛門慰霊の祭りを町内に知らせることから始まった「五郎太鼓」

**増田五郎右衛門
没後二百年記念祭**

【7月21日(土)】

とき／午前10時から
 ところ／東町公会堂「ひなた」

◎講演 義人増田五郎右衛門について

午前10時から

講師／田中城保勝会 塚本清一氏

◎朗読劇 増田五郎右衛門物語

午前10時40分から

公演／びくの会

【7月22日(日)】

とき／午後1時から

◎墓前祭(全仲寺) 午後1時から

◎碑前祭(八幡神社) 午後2時から

◎講演 増田五郎右衛門(六合東小学校 体育館) 午後3時から

講師／郷土史研究家 枝村三郎氏

◎演劇 村を救った増田五郎右衛門(六合東小学校 体育館)

午後3時45分から

出演／六合東小学校 4年生

**しまだ市民遺産
ちよこつとプラスツアー**

▼しまだ市民遺産に認定されている、増田五郎右衛門義人碑などゆかりの地を巡ります。また、増田五郎右衛門没後二百年祭の行事にも参加し、分かりやすくその功績を学びます。

とき／7月21日(土) 午前9時30分、午後4時

スケジュール／午前9時30分 市役

所駐車場集合→午前10時～午後0時30分 増田五郎右衛門没後二百年記念祭→午後1時20分 義人碑見学→午後1時40分 全仲寺→午後2時 田中城下屋敷公園→午後3時 源昌寺→午後3時30分 生家跡→午後4時 市役所着

※東町公会堂から義人碑および全仲寺には、徒歩で移動します。

申し込み／7月2日(日)以降に、電話で文化課へ(定員20人。先着順)

持ち物／飲み物、昼食

※昼休憩は東町公会堂でとります。

五郎さんを知ってもらう機会に

五郎右衛門は「五郎さん」と呼ばれ、地域で親しまれています。六合東小学校では、3年生で五郎右衛門について勉強し、4年生になると東町夏祭りでも劇を披露し、地域の偉人として語り継いできた存在です。この「没後二百年祭」や市民遺産ツアーを機会に、市民の皆さんに、広く五郎さんの功績を知ってもらえたらと思っています。



東町自治会長
増田正弘さん